

「内部共通事務システム開発業務委託」評価基準

1 提案書評価点

項目	評価視点	項番	提案要求項目
事業者に関する事項	セキュリティ確保方針	1	個人情報保護等のセキュリティ確保に対する方針が妥当であり、かつ、明確に提示されている。 第三者機関の審査によるセキュリティ基準の認定としてISO/IEC 27001（JISQ27001）を取得していること。
	品質確保方針	2	品質確保に対する方針が妥当であり、かつ、明確に提示されている。 ISO9001等の品質管理に関する公的資格を取得している。
	システム導入実績	3	提案するシステムは統合型パッケージ（もしくは個別システムで導入し、管理は一元化する形）で提供され、システム間の連携がスムーズにできる事が提示されている。 人口30万人以上の自治体における内部共通事務システム導入実績（構築中も含む）が提示されている（自治体名、人口、導入時期、設備導入形態（共同化またはクラウド導入））。 人口30万人以上の自治体における導入パッケージの導入実績（構築中も含む）が提示されている（自治体名、人口、導入時期、設備導入形態（共同化またはクラウド導入））。 愛知県中核市（同等）規模以上の自治体における内部共通事務システムの導入実績（構築中も含む）が提示されている（自治体名、人口、導入時期、設備導入形態（自庁導入、共同化またはクラウド導入））。
	クラウド導入実績	4	内部共通事務システムに限らず、自治体におけるクラウド導入実績（構築中も含む）が提示されている（自治体名、人口、導入時期、導入システム及び導入形態（単独導入または共同化））。
業務遂行に関する事項	プロジェクト体制	5	プロジェクト管理（進捗、品質、要員、課題、リスク等）、設計・開発手法、検討手順、品質管理及びセキュリティ管理等に対する考え方並びに役割分担（本市（担当課及び情報企画課）及び貴者）が具体的に提示されている。 本市職員の負担を軽減するための提案が具体的に提示されている。 本業務は関係する課が多数あることも考慮し、スケジュール遅延解消、品質確保及び情報共有について、現実的な対応策、考え方、手法及びツール等が具体的に提示されている。
	プロジェクト要員	6	プロジェクト責任者、プロジェクトマネージャ、プロジェクトリーダー及び技術者について以下のとおり具体的に提示されている。また、専任か兼務かが提示され、かつ、兼務の場合はどのくらい本業務に従事できるかが提示されており、内容が妥当である。 ・ 氏名 ・ 所属 ・ 勤務年数 ・ 業務経験 ・ 契約期間中における他案件従事の有無 ・ 内部共通事務システム構築及び運用の経験の有無（具体的に） パッケージ対応を円滑に行うための開発要員や、プロジェクト状況を客観的に把握しプロジェクトへの指導を行う受託者内のPMO組織など業務を円滑に行うサポート体制が提示されている。
	スケジュール	7	仕様書に記載された運用開始時期の遵守に必要な作業項目、期間ならびにそのスケジュール、マイルストーン設定が具体的に提示されている。 本市の負担軽減を考慮した妥当なスケジュールが提示されている。 作業項目の重み付け、マイルストーン設置など道標の明記及び次工程へ進むための本市の判定会議の開催など進捗遅延の解消と品質向上のための具体的な方策が提示されている。なお、本業務は関係する課が多数あるため、会議が多くなりすぎることにより、進捗の遅れとならないような工夫がなされたスケジュールとすること。 進捗や懸案事項、リスクの管理方法について具体的に提示されている（進捗の遅延期間に応じた対応策等を示す）。 新旧システムの並行稼働期間を考慮したスケジュールとなっている。
	会議体	8	実施する会議体、目的、出席者について具体的に提示されている。また、双方の齟齬をなくし、円滑なコミュニケーションを図るための具体的手段及びツールが具体的に提示されている。
	テスト	9	本稼働までに本市職員による十分なテストが負担なくできるよう、本稼働までの問題点及び課題の洗い出しが行われ、具体的な作業項目及び妥当なテストスケジュールが提案されている（何をもってテスト終了と本市が判断できるかを明示すること）。 単体テスト、結合テスト、1年間のサイクルを意識した総合テストを行うことが具体的に提示されており、テストにおけるエビデンス（証跡）等によって本市職員がテスト結果の確認を容易に行うことが出来る提案がされている。 本市のテストと貴者のテストに重複がなく、効率的に、かつ、最大限の効果が得られるよう提案がされている。 本市と貴者で実施するテストについて、職員の繁忙期等が考慮されたスケジュールで、かつ短期間で完了する等負担にならない実施方法が提案されている。
	提案にあたっての基本的な考え方	10	本市は、クラウドによるサービス利用型の形態（制度改正やバージョンアップ費用も含んだ形で運用費用を定額で支払い、貴者が選定するデータセンタに本市が回線を介してサービス提供を受ける形態）を考えている。 その形態を踏まえた、提案にあたっての基本的な考え方（提案理由・意義）が簡単に整理されて提示されている。 なお、費用については、提案範囲内または別途費用であることが明確に提示されていること。
	可用性	11	安定稼働、障害発生抑制を実現するための手法、システム上の考慮点等について具体的かつ定量的に提示されている。 アクセスが多数発生する繁忙期や時間帯の安定性確保のための設計、方策について、構築実績や運用実績を生かし具体的に提示されている。 サーバ機器等の冗長化や遠隔地バックアップの実施等、事業継続性について過大な機能にならない程度に効果的な方法が提示されている。システムダウン時の早期回復を考慮した業務継続性の高いシステム構成が具体的に提示されている。
開発コンセプトに関する事項	性能・拡張性	12	アクセス数の増加の見積りや、システムの特性（アクセスピーク時、通常時、災害発生時など）を考慮したシステム構成・機器構成が提示されている。 システム利用者がストレスなく利用できるようシステム性能及び高速性の向上や維持のための考え方が具体的に提示されている。 アクセス数の増加等に伴うシステム拡張への対応が考慮されたシステム構成・機器構成が提示されている。 パッケージシステムとしての機能追加、OSのバージョンアップなどシステムの拡張性の実現を考慮した有効な提案が具体的に提示されている。 将来的に電子請求サービスや電子契約サービスとの連携が可能である事が提示されている。加えて、生成AIの利活用についての方針も示されている。 内部共通事務システム以外の他社システムについても、今回導入する認証基盤を用いた認証を利用する事を可能とする拡張性をもったシステム構成が提示されている。
	経済性	13	長期的な運用に耐え、維持管理が低廉となるようライフサイクルコストを考慮した設計及び開発について具体的に提示されている。 ノンカスタマイズを基本とし、アドオン機能や運用を提案するなど経済的なシステム構築、導入に対する具体的な提案が提示されている。システム設計時、開発時、導入時及び運用時に関する経費削減への具体的な提案が提示されている。
	運用・保守性	14	システムの稼働レベル及び問題発生時の対応レベルについて提示されている。職員が対応できない業務時間外や休日運用に関しても安定して運用できる設計となっている。バックアップや運用監視、メンテナンス等の仕組みが具体的に提示されている。 人事異動対応のため、職員情報や所属情報がCSVファイルで一括更新可能であり、パッチ処理により時限的に対応可能である等、職員の運用負荷軽減を考慮したシステムであることが提示されている。
	セキュリティ	15	個人情報保護に関する考え方や保護策、物理的、技術的な面からのセキュリティ上の脅威と対策など、多面的に十分な対策が具体的に提示されている。
	アクセシビリティ	16	システム利用する職員及びシステム保守する職員のそれぞれの立場で、専門知識等を必要としない優れた操作性およびユーザインタフェースが具体的に提示されている。例えば、全体に統一感があり利用しやすい内容の画面構成（レイアウト）であることや、画面遷移が少なく（画面遷移した場合でも違和感なく）直感的に操作できること。

項目	評価視点	項番	提案要求項目
導入に関する事項	ネットワーク	17	クラウドサービスを利用するにあたり、本市のネットワーク環境及び今回導入するシステムのトラフィックを考慮したうえで、安定性及び経済性を確保したネットワーク構成が提示されている。
	データセンタ	18	本システムの構築環境はISMAP登録されており、かつ貴者で選定した構築環境を利用するメリットがあることが提示されている。以下はメリットの例。 ・安定性及び信頼性 ・安全性 ・情報セキュリティ ・リソースが柔軟に拡張可能であること ・運用及び保守 ・本市職員による現地視察（監査）の受入が可能 ・その他貴者が必要と考える項目
	パッケージ	19	パッケージ製品を採用したい本市の考えに沿って提示されている。 地域情報プラットフォームに対する方針が妥当であり、かつ、明確に提示されている（準拠していない場合、理由が明確にされている）。 運用費用が変更しないよう、OS等がバージョンアップしてもミドルウェア等で対処できるなど、10年以上継続して利用できるシステム設計方針であることが提示されている。
	制度改正対応	20	今後予定されている制度改正等の内部共通事務システムを取り巻く環境について提示されており、それに対する対応や課題が具体的に提示されている。 運用開始後の制度改正対応について、考え方（パッケージ対応、保守対応・追加費用の切り分け等）、課題点及びその様な場合の実績等が提示されている。
	データ連携	21	内部共通事務システム間のデータ連携について、業務の効率化・正確性を向上させるようなシステム連携が提示されている。 外部とのデータ連携について、貴者が各所管課と個別に確認・調整し、必要に応じて、入力データのレイアウト変換や出力データの生成に係ることを貴者が行うものとするのが具体的に提示されている。
	データ移行	22	データ移行に関して、データ移行の概要、データ移行ツール及び本市との役割分担が具体的に提示されている。 全てのデータ（過年度データ含む）が移行できることが提示されている。また、移行不可なデータがあった場合の解決方法について具体的に提示されている。 データ移行に関して貴者が各所管課と個別に調整し、かつ、提供されたデータをシステムへ取り込むためのデータの加工、修正及び生成に係る作業や支援を貴者が行うものとするのが具体的に提示されている。 移行されたデータ項目の整合性確認及び差異があった場合の解決方法について具体的に提示されている。 本市側に確認作業が発生する場合の、スケジュールと想定作業内容、作業量が具体的に提示されている。
	運用・保守に関する事項	23	業務継続性の観点も踏まえ、運用における考え方や課題が整理され、安定稼働のための保守体制、システム維持及び保守作業内容について具体的に提示されている。 職員が担当する運用管理業務と貴者が担当する運用管理業務の考え方が提示されている。また、作業項目を具体的に提示し、職員の負荷軽減を考慮した役割分担が提示されている。
運用・保守に関する事項	障害対応及びデータバックアップ	24	障害対応（一次受付）など稼働後の運用について役割分担が項目毎に具体的に提示されている。 障害発生時に、連絡窓口の統一など、その対象がハードやソフト、場所が庁舎やデータセンタ等の違いを意識することなく、対応に向けスムーズな連携ができる体制が具体的に提示されている。また、受付者や技術者等の具体的な連絡・対応フローや手順が本市との役割分担も含め提示されている。 システムダウン時の対策、課題が明確となっており、具体的な回避策、解決策が提示されている。 データバックアップについてシステム稼働に支障をきたさない時間帯で、可能な限り短時間で行うことが具体的に提示されている。また、バックアップしたデータの保管方法（例：媒体を遠隔地に運搬する方法やネットワークを利用しデータ転送による方法等）やその保管頻度が具体的に提示されている。
	SLA	25	運用に係るSLA例が適切に設定され、具体的に提示されている。 SLAの評価方法及び見直しに関するSLMが具体的に提示されている。
	研修	26	職員の研修の具体的な実施内容（スケジュール、カリキュラム及び実施手段）が簡潔にまとめて提示されている。また、運用者や利用者の状況に応じ、短時間で効率的に操作方法等をマスターできる研修方法等が提示されている。 研修は必要に応じて実施され、職員の日常業務の負担にならないことが提示されている。 システム導入時のみならず、職員の操作習熟のための継続的な支援体制が提示されている。 システム操作方法に関する問い合わせ対応について具体的に提示されている。
	システム更改時の支援	27	本市の求めに応じ円滑なシステム移行を目的とした次期システム開発業者等との打合せ（数回程度）の参加等が具体的に提示されている。
その他	費用	28	開発費、運用費用及び、データ抽出費用の算出根拠が具体的に提示されている。なお、運用費用の高騰を抑制する対策が具体的に提示されていること。 データ遠隔地保管等のその他オプションの経費がある場合も同様に算出根拠が具体的に提示されている。 初年度及び初回立会いに係る運用支援に要する費用がある場合は、その金額も提示し、かつ、項目及び内容が具体的に提示されている（例：作業項目、立会い頻度、打合せ回数、それにかかるSE人数等）。
	他自治体等での利用	29	本システムを他自治体で利用する場合について、環境構築方法について具体的に提示されている。 利用するにあたって想定される課題と対応策について、具体的に提示されている。 利用者数20名として本市と同時リリースした場合の、導入費用、運用費用がシステムごとに提示されている。
	市内産業への貢献	30	本システムの導入及び運用を通じ、市内情報産業への貢献又は発展すると想定される内容について具体的に提示されている。

2 機能要件評価点

項目	評価視点	項番	提案要求項目
機能要件	機能要件	一	本市が要求する機能が満たされている。

3 価格評価点

項目	評価視点	項番	提案要求項目
提案金額	提案金額	一	提案金額に応じて加点する。